

## 登別市市民自治推進委員会 第8回 役員会議事録

日 時 平成23年2月25日(金) 午後6時30分～午後8時30分

場 所 市民活動センター活動室D

出席者 木村、田中、合田、大山口、平田(和)、瀧川、平田(誠)

### 審議事項

第4回市民フォーラムは3月13日は12時30分から開会予定

広報用のチラシを200枚用意して来ておりますのでそれぞれ持ち帰り有効活用願います。

#### 1. 矢祭町についての勉強会

資料; 矢祭町集中改革プラン 技能労務職員給与等見直し取り組み方針

= 資料収集した瀧川委員が説明 =

- ・ 改革についてはまず自分達が身を削って改革案を提示する。
- ・ カリスマ性のあるリーダーの存在が改革の成功の秘訣である。
- ・ 議員の削減、報酬減等、かなりドラスチックな改革が行われた。
- ・ 議会傍聴だけでは問題点を探ることは難しい。
- ・ 矢祭町は合併をしないという宣言をして一躍有名になった訳だが今回のフォーラムでは合併云々を学ぶ訳では無くどうやったら自主自立の協働のまちづくりができるのかと云う事を学びたい。自己決定自己責任に依る小さくても自立のまちづくりを選択した。
- ・ このような改革をしたその裏が知りたい。根本前町長には、今どんな角度でそれを進め、どんな成果を掴んでいくのか
- ・ 矢祭でも登別でもやっていることはあまり変わらない様に見える。組織を見ても矢祭と登別とあまり違いはない様に見える。

= 別資料から合田委員が補填

- ・ 結論から言えば合併しない宣言が職員の意識を一変させる効果を生んだ
- ・ 市町村合併宣言をしない宣言をしたあと全国の自治体からの視察ラッシュに見舞われその対応の中から職員に自主自立の気運が生まれた。

#### フォーラムにおいて

- ・ それでは前町長にどんな事を聞きたいか。  
まず町長の決意とか、確固たる信念と云うか、改革を行った裏側に何がどんな事があったのか、実際にどんな困った事があったのかを聞きたい。
- ・ 職員を減らす場合一人減らすとしても大変な事である。それを何人単位で減らす場合、これ

だけドラスチックに行った場合抵抗しなかったのか。抵抗があった時どういう方法で進めたのかというそういう裏話が聞きたい。

## 2. フォーラム当日の対応について

3月13日 役員は11時に集合。

- ・別紙配置表に依りそれぞれ分担して準備にあたる。
- ・会場は1階ロビーでマックス40~50くらいの入場者を想定。
  - 椅子は館内(2Fを含め)のものをすべて使用。
  - 会場設営について1Fのテーブルは、会場の端によける。
  - 2階は貸切だが、1階の他の部屋は一般の来館者が使用する。
- ・お見えになってすぐ始めなくてはならないので講師控室は特に準備しない。
- ・看板は会場の関係から設置しない。
- ・受付で参加者に名前の記載をして貰う。バインダーを4~5枚用意。筆記具若干。(ボールペン5本のみを事務局が用意)
- ・録音はICレコーダー。事務局が2台準備対応(1台は平田が対応)。
- ・講師用のテーブル、水差し、お絞り等の準備(平田が対応)
- ・参加者の湯茶は用意しない。
- ・講師の昼食は送迎の川田・瀧川両委員が対応。
  - 講演は講師を送り返してそれで解散。(講師は講演が終わったら直ぐ帰られる予定)
  - 解散後役員は会場を復旧してから解散。

企画委員会からの報告。

本日は委員欠席なので事業見直し委員会からのみの報告。

~~~議事録により説明~~~

最終的には見直し、改善は自治推進委員会がやるのではなく、その職場なり、個人なり、仕事をやっている人がそれぞれ自意識をもって対応して貰う事が理想。意識改革が必要。やる気のない人にできるわけがない。場合によってはかなり強烈なトップダウンでやらなければならないことも予測される。

・瀧川さんの議事録の中で議員と協働でという部分があり同感。議員がいて市民がいて行政がいてその中で議論を積み重ねて行く事が街づくりに最も重要。

・議員、市民、行政が協働でテーマを選択しながら協議する仕組みが作ることができたら大きな解決策になるのではないかという気がした。

その他

・合田委員からの提案。

協働という具体的な自由な形での議会との話し合い場を作ることを提案したい。後日提案書を提出したいと考えています。

・委員会の名簿作成についての協議を先の特別委員会で協議しなかった。早急に対応して

ほしい。

・委員の増員対策を考えることも必要である。地道な勧誘行動を続けること。各団体への働きかけも重要である。

次回開催

・事業見直し委員会は3月17日 全市観光は3月16日

・役員会は

開催日時 3月22日(火) 18時30分

開催場所 市民活動センター のぼりん 2階 市民活動室D

記録者 平田 誠 治